

## 鵜野地区の総合開発について

### 一般質問



三宅 利弘 議員  
(21 政会)

**問** 鵜野飛行場の払い下げの時期はいつになるのか。

**答** これまで防衛省、財務省、それと加西市の3者による協議を重ねています。事務レベルでは払い下げの方向で基本的な共通理解は得られた状況です。これから各省及び加西市で各種の手続きを、平成 27 年度末をめどに進めていきます。

**問** 払い下げに伴う財政面の資金（用地費）はどのようにされるのか。

**答** 鵜野地区、鵜野飛行場跡地周辺整備として、都市再生整備計画の中に払い下げ費用も含めて計画策定していましたが、補助対象外となったため、一般財源を持って用地費を捻出します。

**問** 都市再生整備計画の進捗状況はどのようになっているのか。

**答** 国土交通省の社会資本整備総合交付金のメニューである都市再生整備計画を仕上げ、平成 27 年度からの着手に向け取り組んでいます。この計画は、戦争遺跡を活用した散策道路の整備、災害時拠点広場整備などのほか、飛行場は原形を生かした公園として整備する予定です。

**問** 国道 372 号のバイパスを兼ねた幹線道路のこれからの事業計画について。

**答** 県道玉野倉谷線から次世代施設園芸モデル団地の西側を北上し、飛行場跡地の西側を経由して、その先、県道三木穴栗線の接続まで 2,450 メートルを計画しています。市道中野家塚線から次世代施設園芸モデル団地までの約 950 メートルを 27 年度から事業着手します。

**問** 次世代施設園芸モデル団地に接続するアクセス道路はどのようにされるのか。

**答** 仮設道路として、市道剣坂野条線からモデル団地までの区間の舗装工事を行い、また、幹線道路と接続している市道野条 1 号線の一部の舗装工事も行い利用していただきます。

#### ■その他の質問項目

・加西市農業振興について

## 北条市街地住環境整備と雨水対策について

### 一般質問



黒田 秀一 議員  
(自民の風・誠真会)

**問** 旧北条市街地は、緊急車両が通行できない、道路幅員が 4 メートルに満たない狭隘道路が多い等、防災上の問題があります。また、老朽空き家・空き地が増加していることから、不審者の侵入など防犯上の問題もあります。そこで、北条市街地の住環境整備の進捗状況についてお聞きしたい。

**答** 北条市街地の住環境整備は、空き家対策と狭隘道路の整備を中心とした、住民と行政

が協力して取り組むまちづくりと位置づけています。

住民の方には、空き家の除却促進を支援する助成制度や、後退道路用地の提供についての奨励金制度を新設し、平成 27 年度から助成します。その際、後退道路用地部分の塀や門等の構造物については、現在、建て替えを行う場合にも構造物の除却が条件となっているため、補償については考えておりません。

今後は、住環境整備とあわせて、市道・里道・水路等の公共用地の境界を確定するべく、まずは官民境界についての先行調査を行います。これにより、道路の現況幅員が明確になり計画しやすくなると考えています。

北条市街地は徒歩圏内に必要な施設が揃い、利便性が高く、人口

増の可能性を秘めています。住環境を整え活性化を図っていくことで、持続可能なコンパクトなまちづくりを推進していきたいと考えています。

**問** 北条町市街地の雨水対策工事の進捗状況について。

**答** 浸水被害のあった箇所への対策工事（平成 25 年度 1,600 万円）、そして、中国道の側道沿い雨水幹線延長工事（平成 25 年度 4,000 万円、平成 26 年度 9,000 万円）を実施しており、対策工事はこの 2 年間でほぼ完成しています。今後の対策については、工事後の様子を見ながら検討していく予定です。

#### ■その他の質問項目

・防災・減災について